

第1章 尾鷲市の現況

1. 人口

人口は減少傾向にあり、高齢者の占める割合は年々増加しています。

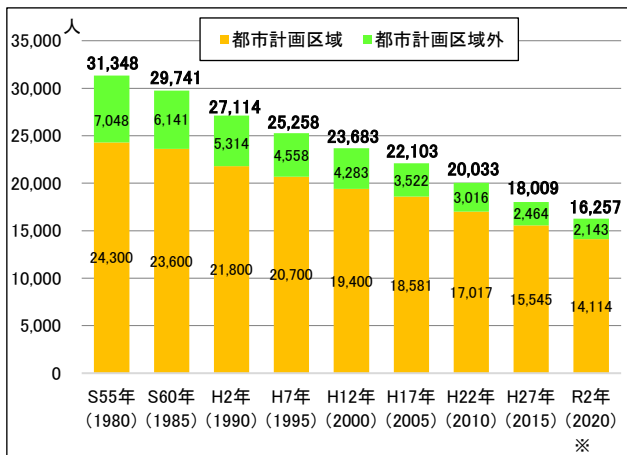


図 人口の推移 (出典：国勢調査 ※R2年は速報値)

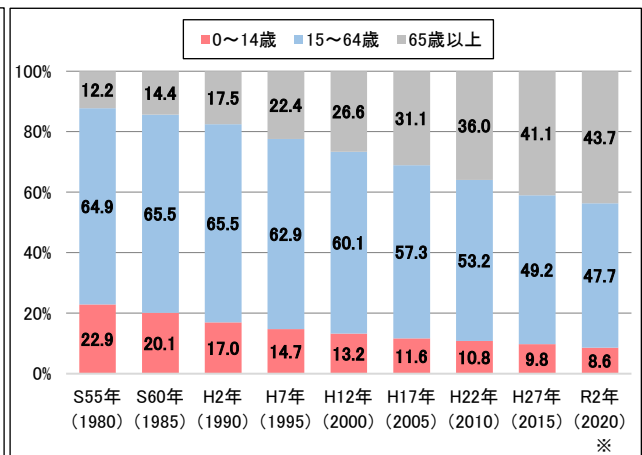


図 年齢別人口割合の推移 (出典：国勢調査 ※R2年は住民基本台帳)

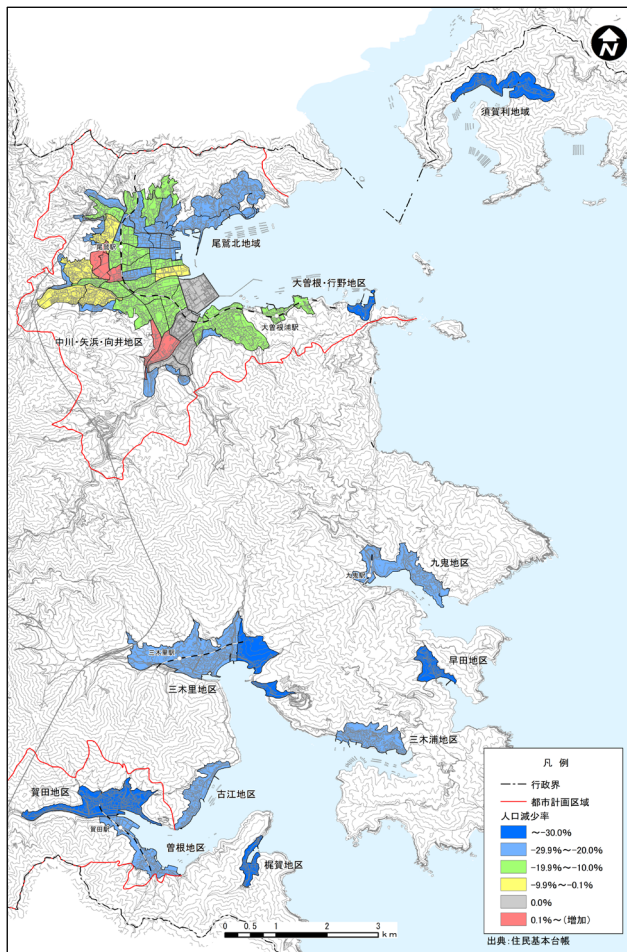


図 地域別人口減少(平成22年～令和2年) (出典：住民基本台帳)

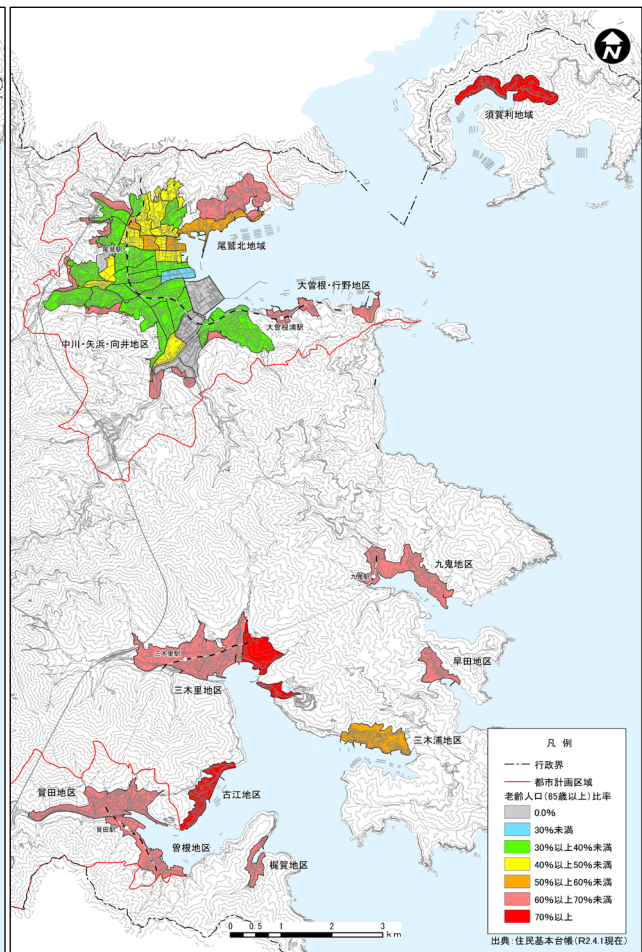
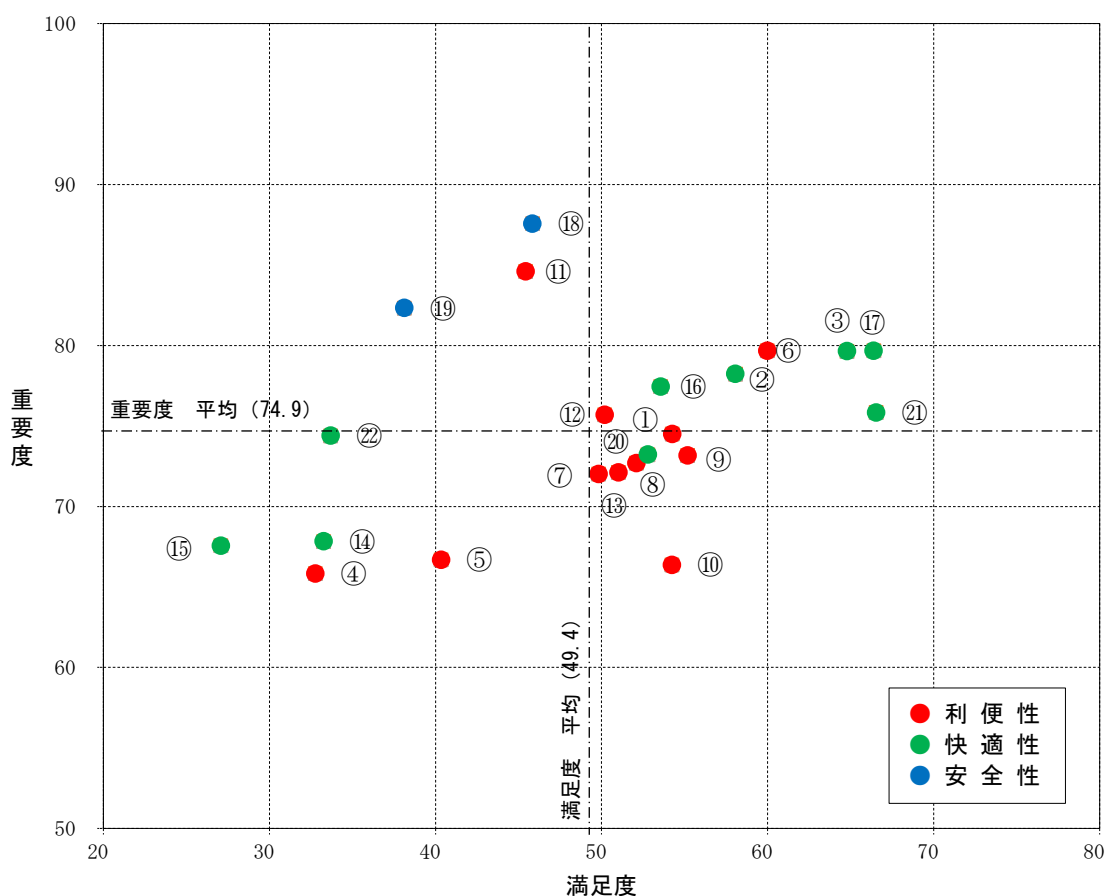


図 地域別高齢人口比率(令和2年) (出典：住民基本台帳)

2. まちづくりに関するアンケート調査結果

◆ 居住地区の現状の「満足度」、今後生活する上での「重要度」

回答者の現在、住んでいる地区の満足度と重要度について、利便性、快適性、安全性に区分し評価すると、満足度が低く重要度が高いのは、利便性は「⑪ 病院等の医療の利便性」、快適性では「②② 空き家・空き地の管理の状況」、そして安全性では「⑱ 震災や津波、台風等への防災対策」「⑲ 街灯や防犯カメラの設置など防犯対策」となっています。



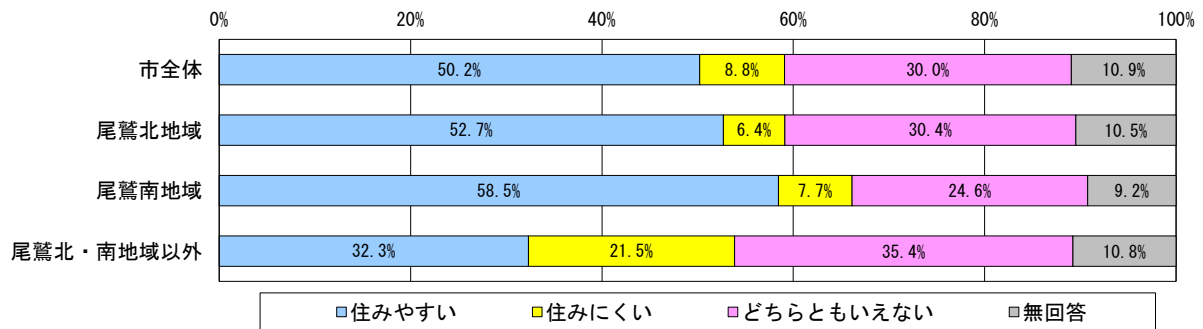
- ① 徒歩・自転車での移動が快適な道路の充実
- ② 自動車での移動が快適な地区内の道路の充実
- ③ 他の地区や市外へ移動する道路の充実
- ④ 鉄道の利便性
- ⑤ 路線バス・コミュニティバス等の利便性
- ⑥ 食料品や日用品の買い物の利便性
- ⑦ 家電製品等の日用品以外の買い物の利便性
- ⑧ 通勤・通学の利便性
- ⑨ 市役所・センター・公民館等の公共施設の利便性
- ⑩ 図書館・ホール等の文化施設の利便性
- ⑪ 病院等の医療の利便性

- ⑫ 高齢者福祉・介護施設の利便性
- ⑬ 保育所等の子育て支援施設の利便性
- ⑭ 歩いて行ける身近な公園の充実
- ⑮ スポーツ・レクリエーションで利用する大きな公園
- ⑯ 汚水や生活排水の処理の状況
- ⑰ 上水道・簡易水道の整備状況
- ⑱ 震災や津波、台風等への防災対策
- ⑲ 街灯や防犯カメラの設置など防犯対策
- ⑳ まち並みや自然の景観
- ㉑ 工場等の騒音・公害のない良好な環境
- ㉒ 空き家・空き地の管理の状況

◆ 居住地区の住みやすさ

回答者が思う、現在、住んでいる地区の住みやすさの状況を、市全体で見ると、「住みやすい」の割合が50.2%で、「住みにくい」の8.8%を大きく上回っています。

また、地域別で見ると、「尾鷲北・南地域以外」は、「住みやすい」の割合が32.3%で他地域と比べて少なくなっています。



◆ J R尾鷲駅周辺の中心市街地について

回答者が必要と思う、J R尾鷲駅周辺の中心市街地の整備について見ると、「地震や津波、台風などの災害に対する防災施設の整備」が20.9%と最も多く、次いで「既存商店街の活性化」が19.5%となっています。

